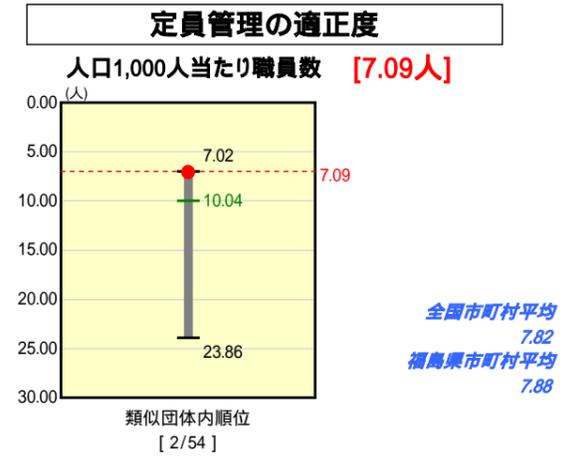
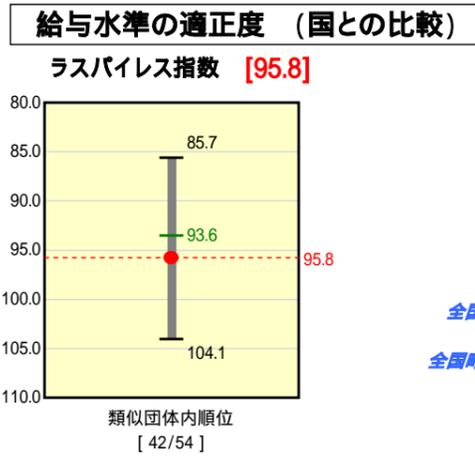
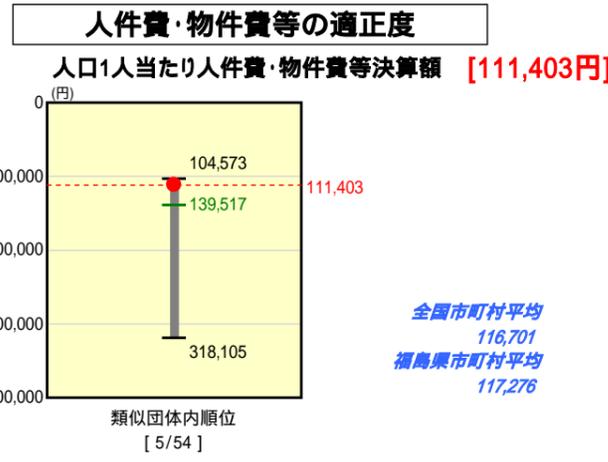
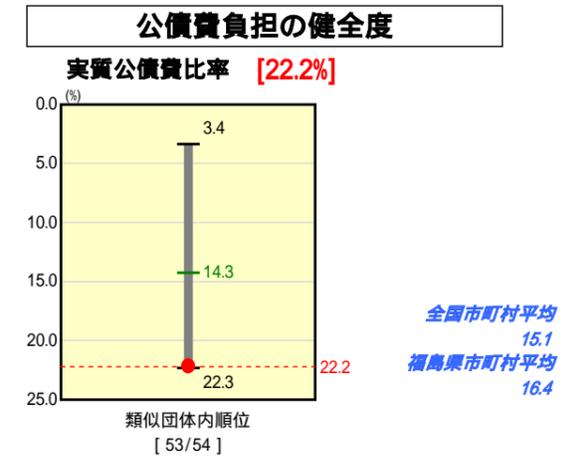
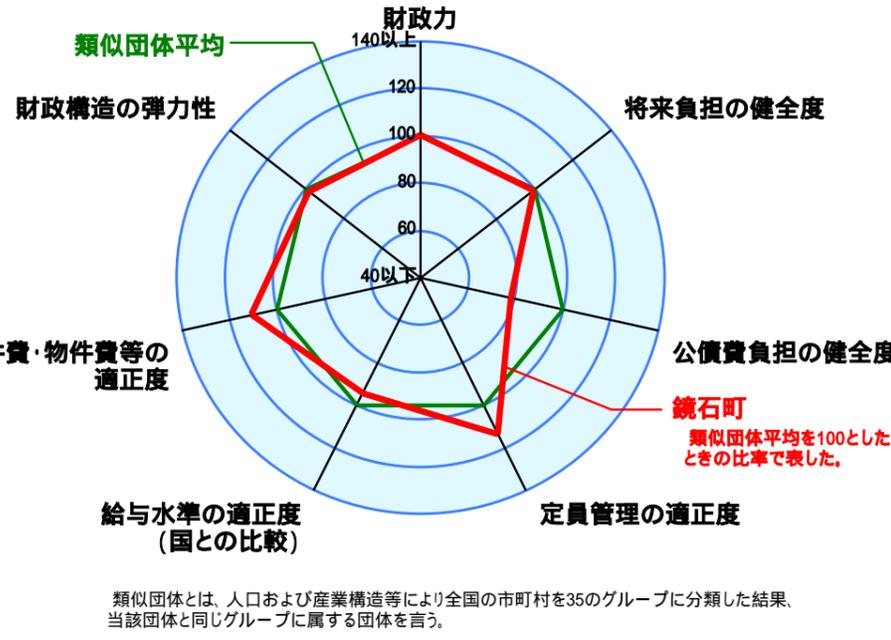
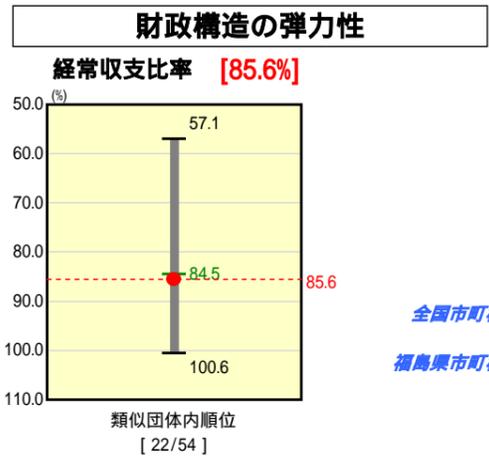
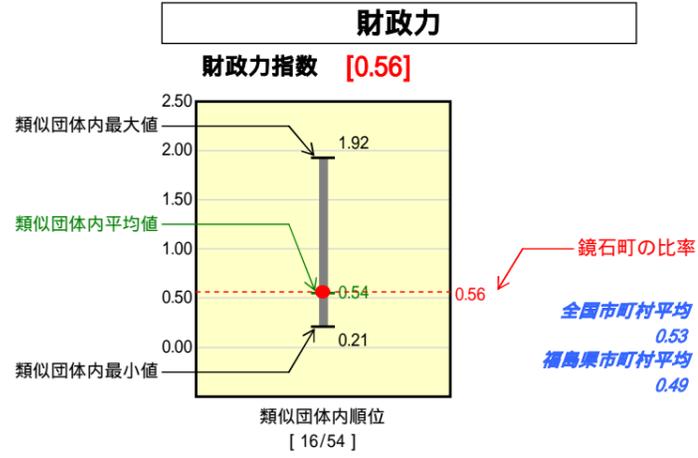


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 鏡石町

人口	12,983	人(H19.3.31現在)
面積	31.25	km ²
歳入総額	4,521,482	千円
歳出総額	4,420,466	千円
実質収支	97,700	千円



分析概

財政力指数: 平成17年度国勢調査人口は対前年度調査(平成12年度)で2名増となっている。また、高齢化率は19.0%と低い状況にある。また、進出企業による法人町民税の増を初めとする町税収入の増により、年々需要額が増加しているものの、類似団体を上回った数値を示している。

経常収支比率: 年々上昇傾向にあり、平成18年度決算において類似団体平均値を上回る85.6%(臨時財政対策債を含まない数値は91.5%)と高い数値を示した。さらに今後の見通しは平成19年度(88.7%)、平成20年度(87.7%)と上昇の見通しである。その後平成21年度から改善していく見通しであるが、大きな改善は期待できない。その大きな原因として、公債費の比率が高いことが挙げられる。事項で挙げる実質公債費比率と同様、公債費の数値改善に努める。また人件費についても第二次行革大綱に基づく職員適正化計画により計画的な削減を実施し、数値改善に努める。

実質公債費比率: 平成18年度決算において22.2%となり、昨年度(22.7%)と比較し改善したものの、引き続き類似団体の平均値を上回る高い数値を示した。今後更に改善していく見込ではあるが、平成4年度から平成11年度にかけて取り組んだ公園整備や図書館建設等大規模事業に係る起債の償還がピークを迎えており、公債費の改善は鈍い状況にある。今後は、財政状況を踏まえながら可能な限りの地方債及び公債費に準ずる債務負担行為の繰上償還、また起債事業の縮減を実施する。なお、今後取り組まなければならない事業については、市町村財政計画及び公債費負担適正化計画を踏まえ、地方債制度の動向を見極めながら可能な範囲で実施し、公債費等の数値の改善に努める。

人口1人当たりの地方債残高: 類似団体をわずかに上回っている状況にある。前項の実質公債費比率同様平成4年度から平成11年度にかけて実施した大規模事業に係る起債が影響している。今後は、財政状況を踏まえながら可能な限りの地方債の繰上償還等の実施により地方債残高の早期改善に努める。

ラスパイレス指数: 95.8と類似団体の平均値を上回っているが、今後人事院勧告及び県の動向等を見据えながら、健全財政の確立のため、給与体系の適正な運用に取組み、人件費の抑制に努める。

人口1,000人当たりの職員数: 類似団体の平均値を下回っている状況にあるが、今後も第二次行革大綱における職員適正化計画に基づき、適正な定員管理を実施していく。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額: 類似団体の平均値を下回っている状況にあるが、各公共施設の老朽化による維持修繕費の決算額が今後上昇すると考えられる。今後は、人件費・物件費の削減により適正な数値の維持に努める。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。